資料1

各地域審議会等での意見一覧

	団体名	旧市町村名に対する地域審議会等の意見	会議・文書でのその他の主な意見
１区	豊栄地区地域審議会	・区の一体感の醸成を図るため、１区の区名については、「豊栄」を使用しないことに同意する。	・区域内の住民団体等で組織する「区名検討会議」を立ち上げ、意見を取りまとめた上で、新潟市行政区画審議会に区名の候補を推薦する。 ・いずれかの区に、旧市町村名を使用することとした場合は、「豊栄」を使用することについても、区名検討会議で協議する。
	松浜・南浜・濁川コミュニティ協議会	・確かに応募数は多いが、北地区住民にとって、一体感の醸成を図る上からも何かと避けていただきたい。	
４区	横越地区地域審議会	・審議会委員の６割は、亀田郷という歴史的な背景からすると、「亀田」がよいと言っている。４割は、将来を見据えて「新しい名称」と意見が割れた。	・「亀田」であろうと「南」であろうと固執しない。慣れれば、愛着もわくのではないか。 ・亀田郷や亀田製菓は全国区で通用する名称だ。 ・「南」の取り扱いを含め、方位についての基本的な考え方を審議会はどう考えているのか。 ・新しい名前とするなら、「湖南」「南」という意見が多かった。
	亀田地区地域審議会	・大多数は、公募の結果を尊重すればよいと言う意見であった。 また、区としての一体感は重要であり、他の地域の意見も聞くべきであるといった意見もあった。	・公募での４区の１位は「亀田」であった。その１割は区内、９割は区外であり、全市的に見ても４区は「亀田」と認識されていると感じた。
	大江山自治連合会	・自治連合会の総意としては、旧市町村名（亀田）を使うのは反対である。	・区名としては「南」がよい。生活上で文字数が少ないほうがよく、新潟南警察署に全地域が入っていることでもある。 ・応募要項の３点を基として、新しい出発という観点から、皆で話し合った新しい名前がよいと考える。
	曽野木地区自治連合会	・区名は新たな名前の方がよいのではないか。	
	曽野木団地自治連合協議会	・旧名は将来に渡ってしこりを残すので、使用しない方がよい。 ・４区全体にふさわしい名前がよい。皆、小さい村や部落でも地名には誇りを持っている。当然、自分の所の名前を付けたくなる。よって、旧市町村名はやめてほしい。	・区名は「湖南」「南」がよい。
	両川地区自治連合会連絡協議会	・亀田という名前はいかがなものか。新しい４区にふさわしい名前を、全市の整合性の中で行政区画審議会は判断してほしい。 ・４区の中心は亀田と認識している。また、区名案の応募数でも「亀田」が多いことは認識しているが、新しくできる区であり、名称も新しい方がよい。	
５区	新津地区地域審議会	引き続き協議中	
	小須戸地区地域審議会		
６区	白根地区地域審議会	・審議会の中での多数意見としては、漢字、ひらがなの両方の表記を含めて、「白根」が妥当であるという意見であり、少数意見としては、一体感の醸成から、区名にこだわらず、町名として残す方法も可能ではないかという意見もあった。	・農産物や大凧合戦などから、白根ブランドを残したいという意見も聞いている。 ・区名の応募数も民意の表れであり、どうとらえるのか。課題として残るのではないか。 ・今後は６区一体となって、みんなで街づくりをしていきたい。 ・一番難しい問題を地域審議会へ投げているのではないか。
	味方地区地域審議会	・新しい区が誕生するので、新しい名前がよい。	・町名で旧市町村名をも残すことについては、住所が長くなるので反対であり、味方という名称にはこだわらない。
	月潟地区地域審議会	・新潟市と合併し、新・新潟市となったわけなので、旧市町村名は使わず、新しいスタートをすべきである。	・町名については、味方と同意見である。
８区	岩室地区地域審議会	旧市町村名を使用しないことで全会一致	・「西蒲」がよい。「角田」「多宝」は特定地域の名称なので不適当。 ・旧市町村名を使わないということは、生まれ変わるということだ。
	西川地区地域審議会		・「みどり」「みずほ」がよい。 ・地域審議会に意見を求める機会を設けたことは、よいことである。
	潟東地区地域審議会		・仮置き区名案を含めて審議会内で投票を行ったところ、「西蒲」が一番多かった。「越王」もよい。 ・水稲単作地帯なので「瑞穂」もよい。 ・町村合併の経緯も残るので「西蒲原」もよい。
	中之口地区地域審議会		・語呂から「西蒲原」より「西蒲」がよい。 ・蒲原という字は書きにくい。 ・「角田」「多宝」より「南」「穂波」「みのり」等がよい。
	巻地区地域審議会		・２、３の異論はあったが、旧市町村名は不適当ということで、審議会として結論を出した。